

保護者等向け

児童発達支援／放課後等デイサービス評価表

2024chiharadai

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	0	1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	4	0	
	3	事業所の設備等について、階段には手すりの設置等、こどもが怪我をしないよう適切に配慮がされているか	30	5	1	
	4	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっているか。また、事業所の設備等は障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	22	1	1	
	5	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	1	0	
適切な 支援の 提供	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか	21	2	1	
	7	事業所が公表している支援プログラム（※2）は事業所の提供する支援内容と合っているか	24	0	0	
	8	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画（※3）が作成されているか	35	1	0	
	9	個別支援計画には、児童発達支援／放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	21	3	0	
	10	個別支援計画に沿った支援が行われているか	22	2	0	
	11	活動プログラム（※4）が固定化しないよう工夫されているか	35	1	0	
	12	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、放課後児童クラブや児童館との交流、その他地域で他の子どもと活動する機会があるか	4	14	6	
	13	運動プログラム、自由遊び、制作活動、調理活動、所外活動等、事業所で提供される活動に満足しているか	32	4	0	・どこかへ出掛けるのが、たまにあるといいなと思います
	14	事業所を利用する際に運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がされたか	36	0	0	
	15	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	24	0	0	
	16	事業所では家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか	5	14	5	
	17	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	33	3	0	
	18	保護者に対して面談の機会や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	9	1	・こちらからアポイントを取って相談の機会を設けてもらったこともあるので信頼できる。また何かあれば相談したいと思います

保護者への説明等	19	事業所の職員から共感的に支援をされているか	21	2	1	
	20	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、兄弟向けのイベントの開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられるなど兄弟への支援がされているか	2	13	9	
	21	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	9	0	・ すみません、そのような場面に遭遇してないのでわかりません ・ 苦情はありません
	22	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	4	0	
	23	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35	1	0	
	24	個人情報に十分注意しているか	33	2	1	
	25	子どもが写っている写真を使用する際、同意書等により保護者の同意は確認されているか	35	1	0	
	26	子どもの写真をHP等で使用する際、個人情報に十分配慮がなされているか	35	1	0	
避難時等の対応	27	事業所では事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか	33	3	0	
	28	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	0	0	
	29	事業所より子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているか	22	1	1	
	30	事故等（怪我等を含む）が発生した際に事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされているか	19	5	0	
満足度	31	子どもは安心感をもって通所しているか	22	1	1	
	32	子どもは通所を楽しみにしているか	28	6	2	・ とても楽しみにしています
	33	職員の服装、接し方（態度）、言葉遣いは、適切であるか	34	2	0	
	34	事業所の支援に満足しているか	31	5	0	・ 学校まで迎えにきてほしいです ・ いつもありがとうございます。先生方の優しさに助けられています。丁寧なブログもありがとうございます

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。